

## わが家の防災スタートブック(3) 減災編

### ☆ 建物の耐震化と命を守る工夫

- 1981年6月に耐震基準が強化。それ以前の建物は耐震診断・補強工事が望ましい
- 古い木造の建物は一階が潰れる危険性が高いので、できるだけ2階で過ごす
- 緊急地震速報や初期微動があったら、念のために外に避難する

#### 1 室内の安全化

- 寝室や子供部屋にはできるだけ家具をおかないか、低い家具だけにして安全度を高める
- 家具の倒れる方向には寝ないようにする

#### 2 家具転倒防止

- 突っ張り棒、L字金具等は正しいつけ方をする。天井との隙間を段ボール等で埋めるのも有効
- 高層の建物ほど揺れが大きくなる可能性が高いので、低い家具にするか作りつけがのぞましい。
- 古い木造建物は揺れが大きくなる可能性が高いので、低い家具にするか作りつけがのぞましい。
- マンション等のキッチンは逃げ場が少ないので、転倒防止をしっかりとこなう
- 最低でも家具の下に重いものをおき、手前に木片などをはさみ、壁に立てかける。壁から離すのも有効

#### 3 落下防止

- 家具等の上に重いもの、危険なものを置かない
- 額や時計は要注意。掛けたい場合は壁にしっかり固定する。

#### 4 ガラスの飛散防止

- 窓ガラス、食器棚のガラス等には飛散防止フィルムを貼るできるだけカーテンをひいておく

#### 5 テレビ、パソコン等の飛び出し防止

- 耐震(粘着マット)を下に敷く

#### 6 食器棚

- 食器の下に滑り止めシートを敷く
- 開き戸の場合はフックや扉開き防止ストッパーをつける

#### 7 洗濯機、冷蔵庫

- 壁に転倒防止ベルトをつけるか耐震マットを活用する

#### 8 照明器具

- つり下げ式の照明器具は危険性が高い。使いたい場合はチェーンで補強す